

薬が突然切れてしまうと、強い発作が起きるおそれがあります。情報を求めて、薬は必ず入手するようにします。どこの病院・薬局でも薬がもらえたり、費用や手続きが免除される救済措置がとられる可能性があります。日本てんかん協会や日本てんかん学会、てんかんセンターでは災害支援活動が必ず行われ、薬の供給について相談することができます。

受診について

病院が被災して主治医と連絡が取れない、あるいは交通手段がなくて受診できないような場合、近くの病院を受診するには緊急カードやおくすり手帳が役立ちます。可能であれば、広域のてんかん災害支援活動（日本てんかん協会や日本てんかん学会やてんかんセンター）を探して、電話などで相談してみることも大切です。

静岡てんかん・神経医療センターは支援のためのホットラインを常設しています（てんかんホットライン：tel 054-246-4618）。

てんかんに関する情報

情報源としてはパンフレット、ラジオ、携帯電話、電気が通じるようになればテレビやインターネットが役立ちます。避難所や避難先の医療スタッフや医療ボランティアに訊ねてみましょう。必ずてんかんの情報は手に入ります。



分からないことがあれば、避難所や避難先の医療スタッフに訊いてみましょう。

避難先で

慣れない環境での生活にはかなりのストレスが生じますが、発作の誘因となることをできるだけ避けて過ごしてください。発作の様子がいつもと違う場合には、診療所を受診しましょう。緊急カードや病状を説明した文書を持っておくと役立ちます。必要であれば福祉避難所について訊ねてみてください。

文献

- 1) 日本てんかん協会ホームページ：災害対応マニュアル。 <http://www.jea-net.jp/files/use_manual.pdf> (2011/11)

[井上 有史]

